

平成16年6月定例会議事録(第2号)

平成16年6月11日 金曜日 午前10時00分開議

鈴木良雄 議長 鈴木小市 副議長

出席議員(21名)

1番	我妻昇	議員	2番	内谷重治	議員
3番	大道寺信	議員	4番	谷口栄子	議員
5番	佐々木謙二	議員	6番	安部隆	議員
7番	町田義昭	議員	8番	鳥谷政一	議員
9番	蒲生光男	議員	10番	渋谷佐輔	議員
11番	高橋孝夫	議員	12番	小関勝助	議員
13番	大沼久	議員	14番	鈴木小市	議員
15番	藤原民夫	議員	16番	鈴木武次	議員
17番	蒲生吉夫	議員	18番	佐々木榮七	議員
19番	島田友市	議員	20番	鈴木新助	議員
21番	鈴木良雄	議員			

+

欠席議員(0名)

説明のため出席した者

目黒栄樹	市長	長谷部宇一	助役
佐藤義夫	収入役	佐藤仁	総務課長兼選挙管理委員会事務局長
松本弘	財政課長	中井晃	企画調整課長
梅津敏昭	税務課長	小泉良一	市民課長
船山祐子	健康課長	宇津木正紀	福祉事務所長
勝見健一	会計課長	鈴木国男	消防主幹
飯田武志	監査委員	田中勝男	教育委員長
竹田辰雄	教育長	安部嘉徳	選挙管理委員会委員長
長谷部惣一	農業委員会会長	梅津和士	農林課長
那須宗一	商工観光課長	浅野敏明	建設課長
平英一	管理課長	平進介	文化生涯学習課長
蜂谷潔	農業委員会事務局長	青木修次	水道事業所長

+

堀 邦 夫 学校給食共同調理場長

沼 澤 厚 子 監査委員事務局長

### 事務局職員出席者

井 上 和 良	議 会 事 務 局 長	児 玉 行 宏	補	佐
五十嵐 恵美子	主 任	塚 田 知 広	主	事

### 議 事 日 程 ( 第 2 号 )

平成 1 6 年 6 月 1 1 日 金曜日 午前 1 0 時 0 0 分開議

#### 日程第 1 市政一般に関する質問

- 9 番 蒲 生 光 男 議員
- 1 1 番 高 橋 孝 夫 議員
- 1 7 番 蒲 生 吉 夫 議員
- 1 5 番 藤 原 民 夫 議員

+

### 本日の会議に付した事件

+

議事日程 ( 第 2 号 ) に同じ

+

## 開 会

鈴木良雄議長 皆さん、おはようございます。  
これより本日の会議を開きます。

## 開 議

鈴木良雄議長 本日の会議に欠席の通告議員は  
ございません。よって、ただいまの出席議員  
は定足数に達しております。

ここでご報告申し上げます。

請願第6号、年金制度改革に関する意見書提  
出方請願につきましては、撤回届が提出され、  
受理されておりますのでご報告いたします。

本日の会議は、配付しております議事日程第  
2号をもって進めます。

### 日程第1 市政一般に関する質問

鈴木良雄議長 それでは、日程第1、市政一般  
に関する質問を行います。

なお、質問は答弁を含めて、60分以内となっ  
ておりますので、ご協力のほどお願いいたしま  
す。

### 蒲生光男議員の質問

鈴木良雄議長 それでは、順次指名をいたしま  
す。

初めに、順位1番、議席番号9番、蒲生光男  
議員。

(9番蒲生光男議員登壇)(拍手)

9番 蒲生光男議員 おはようございます。

今期定例議会において通告してあります項目  
について順次質問いたします。市長以下当局  
に置かれましては、懇切丁寧、明瞭なる答弁  
をお願いいたします。

さて、質問の第一点ですが、5月29日、30日  
にの両日にわたって開催された「ながい黒獅  
子まつり」について、私を感じたことや市民  
の声を申し上げ、市長並びに細かいことは商  
工観光課長の見解をお願いしたいということ  
であります。

ことは長井市市制施行50周年、本来ならば  
華々しく記念行事が開催され、市民に祝賀の  
記念品を配り、等しく祝うところでありまし  
ょうが、折しもことは最悪の財政であり、  
思うに任せない状況であります。そんな中に  
あって、黒獅子まつりは2日間に祭日を設定し  
開催されました。結果としては総体的には  
よかったと思います。二日間で延べ何人の  
人出があったのかわかりませんが、古来受け  
継がれてきた「黒獅子」の舞いが大勢の人に  
見ていただけたことは、長井の黒獅子まつり  
が定着してきたというあかしであろうと思  
います。

しかし、私を感じたことや市民の声として、  
さらに改善すべき点があるのではないかと思  
われましたので、申し上げます。

まず、黒獅子といえば、笛と太鼓の音色であ  
り、歯打ちの音であります。そして、迎える  
側では、かがり火であり、御神燈のほのかな  
明かりです。黒獅子まつりでいつも思うこと  
は、各地区の祭りでは必ずお獅子を迎えるに  
御神燈をともして迎えるのが常識ですが、黒  
獅子まつりではそれがほとんどないというこ  
とであります。なくてもできましようが、祭  
りというのは「雰囲気」であります。祭りら  
しい雰囲気をどう演出するするか、もっと考